

予算決算委員会（全体会）記録

[後期全体会]

1 日 時 令和3年12月17日（金曜日）

開 会 午後 1時07分

閉 会 午後 1時16分

2 場 所 議 場

3 出席委員 37人

委員長 金 厚 有 豊

副委員長 佐 藤 則 寿

委 員 金 岡 貴 裕

// 藤 田 克 樹

// 柏 佳 枝

// 飯 山 勝 彦

// 織 田 伸 一

// 澤 田 和 秀

// 高 原 讓

// 田 辺 裕 三

// 豊 岡 達 郎

// 吉 田 修

// 久 保 大 憲

// 松 井 邦 人

// 金 谷 幸 則

// 泉 英 之

// 岡 部 享

| | | |
|-----|---------|---|
| 委 員 | 竹 田 | 勝 |
| // | 上 野 | 蛭 |
| // | 舎 川 智 | 也 |
| // | 押 田 大 | 祐 |
| // | 江 西 照 | 康 |
| // | 高 田 真 | 里 |
| // | 東 | 篤 |
| // | 大 島 | 満 |
| // | 谷 口 寿 | 一 |
| // | 成 田 光 | 雄 |
| // | 松 尾 | 茂 |
| // | 尾 上 一 | 彦 |
| // | 橋 本 雅 | 雄 |
| // | 松 井 桂 | 将 |
| // | 横 野 | 昭 |
| // | 村 石 | 篤 |
| // | 鋪 田 博 | 紀 |
| // | 高 田 重 | 信 |
| // | 赤 星 ゆかり | |
| // | 柞 山 数 | 男 |

4 欠席委員 0人

5 地方自治法第105条の規定により出席した者

議 長 高 道 秋 彦

6 職務のために出席した者

【議会事務局】

| | | |
|-----------|----|----|
| 議事調査課長 | 野嶽 | 誠司 |
| 議事調査課長代理 | 中山 | 崇 |
| 議事調査課議事係長 | 酒井 | 優 |
| 議事調査課主査 | 中村 | 千里 |
| 議事調査課主査 | 熊谷 | 法子 |

7 会議の概要

委員長 ただいまから、予算決算委員会を開きます。
本日の審査日程は、お手元に配付のとおりであります。
これより、各分科会長の報告を求めます。
まず、高田総務文教分科会長。

総務文教分科会長 総務文教分科会での審査につきまして御報告いたします。
当分科会では、送付されました予算案件1件、その他の案件1件の審査を行いました。
以下、審査の概要を申し上げます。
議案第193号中、財務部・出納課所管分の税務事務費について申し上げます。
委員から、返礼品が以前より充実したことにより、ふるさと納税の寄附金が増えたということだが、新型コロナウイルス感染症対策事業への支援を用途として指定された寄附金が多かったのではないかと。
また、富山市は他の自治体と比べて地元のブランド力のある返礼品が少なく、寄附金が集まりにくいように感じるが、今後、どのように取り組んでいくのかとの質問がありました。
これに対し、当局から、本年11月末時点で約9,500万円の寄附があったうち、新型

コロナウイルス感染症対策を用途として指定された寄附金は、約3,650万円であり、支援のために寄附が集まった側面もあるかと思えます。

今後は、地域の産業や地産地消に結びつくような返礼品を開発するとともに、それらのPRや魅力発信にも取り組んでいきたいと考えておりますとの答弁がありました。

以上、総務文教分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。
次に、成田厚生分科会長。

厚生分科会長 厚生分科会での審査につきまして御報告いたします。
当分科会では、送付されました予算案件5件の審査を行いました。
以下、審査の概要を申し上げます。
議案第193号中、こども家庭部所管分の医

療的ケア児保育支援事業について申し上げます。

委員から、本事業の対象となる私立保育所2施設では、医療的ケア児の受入れに伴い、専任の看護師を新たに配置したのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、当該2施設では医療的ケア児についての社会的な背景を踏まえ、看護師を配置していたところ、今回の受入れにつながりましたとの答弁がありました。

また、委員から、今回の2施設以外に、新たに医療的ケア児を受け入れる動きはあるのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、来年4月以降の入所につきましては今後利用調整をすることとなっております。また、民間の保育施設については、医療的ケア児の受入れについての研修をされるなど、受入れに関する機運が高まっていると感じておりますとの答弁がありました。

以上、厚生分科会の分科会長報告といたします。

委員長

ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

質疑なしと認めます。

次に、押田経済環境分科会長。

経済環境分科会長

経済環境分科会での審査につきまして御報告いたします。

当分科会では、送付されました予算案件4件の審査を行いました。

以下、審査の概要を申し上げます。

議案第198号 令和3年度富山市企業団地造成事業特別会計補正予算（第2号）について申し上げます。

委員から、企業団地造成に伴う、市の投資総額と収入等はどのようになっているのか。また、今後も企業誘致を推進する必要があるが、どのように進める計画なのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、まず、第1期呉羽南部企業団地については、投資総額がおよそ50億円であり、今年度末までの収入累計は、およそ30億円となる予定です。

次に、金屋企業団地については、投資総額がおよそ58億円であり、今年度末までの収入累計は、およそ36億円となる予定です。

また、企業誘致については、これまでも東京

や大阪などで開催される企業立地セミナーに出展するとともに、物流業や製造業の事業者に対してダイレクトメールの発送を行い、さらに、問合せがあった企業に対しては、企業団地の現地視察への同行なども実施しております。

今後とも、企業の動向などの情報をしっかりとつかみ、より効果的な誘致活動に努めるとともに、市内・市外企業を問わず、企業訪問等により、本市の強みを伝えるなど、積極的なPR活動を続けてまいりたいと考えておりますとの答弁がありました。

以上、経済環境分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。
次に、竹田建設分科会長。

建設分科会長 建設分科会での審査につきまして御報告いたします。

当分科会では、送付されました予算案件3件の審査を行いました。

以下、審査の概要を申し上げます。

議案第193号中、建設部所管分の防災拠点機能充実強化事業について申し上げます。

委員から、防災拠点の資機材を充実強化させるとのことだが、大量の消耗品をどのくらいの期間保管するのか。また、使用期限が近づいたものはどうするのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、備蓄品などの使用期限はそれぞれ異なりますが、およそ5年程度が多いと考えております。

使用期限が経過した物の取扱いについては、まだ取り決めていないものもありますが、生理用品については、令和3年6月定例会でもお答えしましたとおり、貧困女性などへの配布を検討したいと考えておりますとの答弁がありました。

これを受けて、委員から、最初から使用期限が分かっているので、今からそのときのことを考えておく必要があると思う。

また、使用期限が迫ったものではなく、もう少し前に配布することを検討し、無駄が出ないように取り組んでほしいとの要望がありました。

以上、建設分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。
以上で、質疑は終結いたしました。
これより、議案第193号から議案第202号まで、及び報告第49号、以上11件を一括して、採決いたします。
各案件は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 御異議なしと認めます。
よって、各案件は原案可決・承認されました。
これで、12月定例会の当委員会に付託されました全議案の審査は終了いたしました。
委員各位に御相談申し上げます。
委員長報告については、正・副委員長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、そのように取り計らいます。

これをもって、令和3年12月定例会の予算
決算委員会を閉会いたします。

令和3年12月定例会
予算決算委員会（全体会）記録署名

委員長 金 厚 有 豊

署名委員 岡 部 享

署名委員 上 野 蛍